



野木小だより

令和5年2月17日
第11号
野木町立野木小学校

第2回学校評価結果をお知らせします

先日は、廃品回収・授業参観・懇談会への参加、また、2学期末には、学校生活・家庭生活アンケートにご協力いただきありがとうございました。

本校では、学校教育目標を達成するために4つの努力点で16の重点項目を設け、数値指標を掲げて教育活動に取り組んでいます。その評価は第1回7月に児童・教職員に実施し、今回は第2回にあたり、保護者と地域の皆様にもご協力いただきました。その結果について、この紙面で簡単にご報告させていただきます。

※以下の表では、各設問4段階の回答のうち「よくあてはまる」「ややあてはまる」の肯定的な回答を選んだ人の割合を表しています。

【努力点1】 行動しよう 《つよく》 心身ともに健康でたくましい子どもの育成

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
① からだを使った遊びや運動	(90%)	87%	92%	61%
② うがい・手洗い・消毒	(90%)	97%	91%	81%
③ 栄養バランスを考えた食事	(90%)	97%	91%	68%
④ 安全な生活(交通安全・避難訓練)	(90%)	97%	100%	79%

①については、学校では体を動かし運動する児童が多いが、家庭では外に出て遊ぶ機会が少なく、体を動かして活動する機会が少ないことが推測される。室内でできる運動の紹介など、体を動かす働きかけを行ってほしい。②については、手洗い・消毒は習慣付いている実態が児童の肯定的な考えから分かる。一方で、家庭では必ずしも徹底されていないことも推測される。③については、給食指導等による、意識の高まりも影響していると考えられる。④では、児童・教職員の肯定的評価が指標を越えている一方で、保護者の評価は80%に届いていない。登下校時における安全な歩き方指導や、家庭での防災教育の呼びかけなども含め、更なる働きかけが必要と思われる。

【努力点2】 見つけよう 《あかるく》 思いやりのある心豊かな集団づくりの推進

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
⑤ 自分のよいところ・得意なこと	(85%)	91%	79%	79%
⑥ 楽しく学校に登校	(90%)	98%	100%	82%
⑦ あいさつ・言葉遣い	(90%)	97%	95%	75%
⑧ 互いを思いやる行動	(90%)	99%	100%	84%

どの項目も、児童の肯定的な評価は、指標を上回っている。児童が学校生活や友だちとの関わりにおいて満足しており、肯定的なとらえ方をしている様子が推測される。⑤については、大人から見た子どもの自己肯定感は低くとらえられる傾向が分かる。⑥については、18%の保護者が「あまりそう思わない」と答えている。家庭で児童が学校での出来事などを伝えるようにしていくことも必要であると考えられる。⑦については、家庭等では肯定的な評価は少ない。学校外でもあいさつ等ができるよう対策を考えたい。

【努力点3】 深めよう

《いきいきと》分かる授業をとおした確かな学力の保障

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
⑨ 自分の考えや思いを表現	(90%)	82%	92%	80%
⑩ 授業の内容を理解	(90%)	98%	95%	77%
⑪ 読書	(90%)	81%	100%	51%
⑫ 家庭学習(宿題・自主学習)	(90%)	96%	100%	74%

⑩⑫については、児童教職員とも1学期に比べて肯定的評価が増えた。学習習慣が身に付くことで、内容理解度の認知にもつながったのではないかと思われる。⑨については苦手意識を持っている児童が20パーセント近くおり、保護者も同様に考えている様子が見られる。⑪の読書への関心や取り組みについては、家庭での読書への意識付けや読書実践があまりされていない実態が推測される。学校で習慣づいている読書習慣を家庭でも広められるよう、家読をすすめるなど、働きかけを行っていききたい。⑫は、児童・教職員と保護者の認識の差が見られる。保護者が家庭での学習状況を把握していないことも考えられるので、家庭学習の定期的なチェックや、保護者に学習内容に関与してもらう機会をつくるなど、保護者に児童の家庭学習状況を正しく把握していただき、児童への励ましにつながるようにしていきたい。

【努力点4】 つながろう 《連携》家庭や地域、関係諸機関との連携による地域とともにある学校づくり

項目	(数値指標)	児童	教職員	保・地
⑬ 一行日記・家庭との連携	(90%)	98%	100%	75%
⑭ 家の人に学校のことを話す	(90%)	86%	95%	76%
⑮ 各種たより、連絡帳	(90%)	94%	100%	79%
⑯ 地域や家の人との学習	(80%)	96%	91%	73%

⑬⑮については、児童・教職員の肯定的評価が高いが、保護者は目標値を大きく下回っている。⑭の項目において、児童の肯定的な評価が低い事とも関連し、学校の情報が家庭にあまり伝わっていないことも推測される。各種のプリント配付物、ホームページや連絡メールによる情報発信を広げていくとともに、連絡帳の一行日記を通して、ご家族で学校の話題について話す機会を増やしていけるようご協力をお願いしたい。

☆地域の皆様からの温かいご意見ありがとうございました

学校評価自由記入欄には、地域の皆様からのご意見も寄せられましたので主なものをご紹介します。

- ・通学時、上級生が下級生を面倒みている様子で、非常に良いことと思われます。
- ・下校のパトロールをしているとき、あいさつがよくできています。
- ・以前に比べ、野木小っ子らしさが戻ってきて、子ども達の表情がよくなっているように思えます。
- ・元気に学校に行っているように思えます。
- ・決まりを守れる子とそうでない子の差があると見受けられます。

☆学校を離れると、言動が変わってしまうことや保護者からの心配なご意見もいただきましたので、今後も一つ一ついいねに指導を継続していきたいと思います。